



◇一般質問とは行政全般にわたり、市長などの行政側に対し、現状や見通しを質問したり、あるいは報告や説明を求めたりすることです。

◇時間制限は質問、答弁時間を含めて60分以内です。

◇一般質問をする議員はその要旨を事前に通告することとなっています。

# 一般質問

3月定例会では13名の議員が一般質問を行いました。  
本会議のネット中継及び録画配信を行っています。  
ホームページ及各議員のQRコードから視聴できます。



3月定例会において延べ31名の方が傍聴にお越しくださいました。ありがとうございました。

## 女性活躍の土壌を育てるため本気の施策を実行してほしい

地域全体がこの問題に当事者として関わっていくことが必要



佐川 京子 議員



**Q** 時代の要請である女性活躍の推進を図るには、「白河市男女共同参画センター」の様な核となる部署を設置し、強力に今、推し進めていく必要があると考える。また、女性リーダー育成を目的とした「学びの場」をつくり、現役で活躍する女性を講師に招き、女性の政治参画の必要性を学ぶことも必要な施策と考えるがどうか？

**A** 男女共同参画社会の実現には、教育、人権、育児や介護、働き方等様々な分野での事業の実施が必要である。この4月から本事業の所管が、市長部局に移管されるので、こうした取り組みをさらに進めつつ、併せて独立した組織の必要性も含め、調査研究する。また女性活躍推進という観点を踏まえ、先進事例を参考に学習の機会づくりに努める。

**Q** 学校における子供たちの人権保護策について伺う。

**A** 教員一人ひとりが研修等を通して常に言動に注意しながら子供たちと接している。子供自らの嫌なことの発信をもっと受け止め、解決につなげる。



## 山菜の出荷制限解除にむけて

引き続き県と情報共有を図る



根本 健一 議員



**Q** 14年前に発生した東日本大震災により発生した原発事故により、本市では、「タケノコ、タラの芽、こしあぶら」について未だに出荷制限されているが、本市における過去3年の自家消費食品の放射能の検査結果について伺う。

**A** 市が実施している自家消費食品の放射能簡易検査では一般食品の放射性セシウムの基準値である1kgあたり100ベクレルの基準に対し、タケノコは令和4年、7件中4件が基準値の2分の1を超過、令和5年は、1件で2分の1未満、タラの芽は令和4年に1件で基準値の2分の1未満、こしあぶらは令和4年1件令和5年2件でいずれも基準値を超過している。

**Q** 出荷制限解除に向けたモニタリングについて伺う。

**A** 出荷制限の解除は、対象品目について3年間、定点で検体を採取し、放射性セシウムが安定して基準値の概ね2分の1以下であることを確認し、その後、市全域の生育地から満遍なく検体を採取し、安全が確認できた場合、県から国へ申請する。市としては、将来における解除に向けて、引き続き県と情報の共有を図っていく。



# 生活保護受給者の車保有について伺う

一定の要件を満たす場合や世帯状況を考慮して保有を認めている



緑川 摂生 議員



例外的に認めている。

**Q** 車の保有に関して、もっと柔軟な対応が必要と考えるが、市の考えは？

**A** 車の保有要件のすべてに該当しない場合でも、障がいの程度や世帯の状況を考慮し、どうしても必要となる場合には保有を認めている。

**Q** 車の保有に関して、今後の国の動向を伺う。

**A** これまでの通勤や通院等の目的以外に買い物等にも利用が認められたところである。



**Q** 車の保有が認められるのはどのような人か。

**A** 車は資産であるため、売却し生活費として活用すべきである。原則、認められていないが、障がい者がいる世帯や公共交通機関の利用が困難な地域に居住し、一定の要件を満たす場合に、

# 教育環境の整備と文化施設の充実

文化芸術の意識を高め、市民の誇りと郷土愛の醸成



植村 美洋 議員



なっているか。

**A** 校務支援システムを導入し、業務の効率化、簡素化などを行い、教員をサポートする支援スタッフを配置するなどしている。

**Q** 複合施設が完成した場合、公民館の位置づけはどのようなのか。

**A** 中央公民館は廃止となり、表郷、大信、東の公民館は「公の施設」に変更となる。



「複合施設」外観イメージ図

**Q** 公民館の事業内容と複合施設の事業の違いはどのようなものか。

**A** 社会教育法に基づくものではなく、幅広い世代が体験や学習ができる内容と考えている。

**Q** 福島ビエンナレ（風月の芸術祭 in 白河）の評価はどのようなものか。

**A** 貴重な体験から、市民の誇りや郷土愛の醸成につながったと評価している。

**Q** 教員の労働環境が問題となっているが、本市の教員の時間外勤務の実態はどのようなものか。

**A** 令和6年度は、小学校で1日平均1・6時間、中学校で2・4時間である。

**Q** 労働環境の改善のため、どのようなことをおこなっているか。

# サッカー場の整備事業について伺う

公式サイズの人工芝サッカー場を表郷に整備する



水野谷 正則 議員



**Q** 交通弱者

**Q** 交通弱者対策のタクシー事業について伺う。

**A** 一定期間タクシー料金の2分の1を助成し「定率タクシー」の実証実験を行う。

**Q** 带状疱疹ワクチンの定期接種について

**A** 自己負担額は3割で、生ワクチンは2,500円、組換えワクチンは1回6,500円の2回で13,000円となる。接種対象者には市から接種券を送付する。

**Q** 白河市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針について伺う。

**A** 基本方針は「小中学校の適正な規模」、「学校の適正な配置」、「小規模化が進んだ学校のあり方を検討する基準」の3項目について検討した。今後は、方針に基づき必要に応じて保護者や住民代表と情報を共有しながら協議していく。

**Q** しらかわ故郷マラソンの運営について伺う。

**A** 救急救命士や看護師を配置している。トイレ等について実行委員会で協議する。

**Q** 白河グリーンフィールド（サッカー場整備事業）について伺う。

**A** 国際サッカー連盟が推奨するサイズの人工芝コートを表郷に設置する。



# 介護報酬改定による介護事業所への支援は？



遠藤 公彦 議員

アンケートを実施し、支援策を検討する



**Q** 本年11月7日に白河市・表郷村・大信村・東村が合併して20年を迎えるにあたり、今後の展望について市長に伺う。

**A** 今後は、一つの自治体で全ての公共サービスを提供していくことは困難なことから、定住自立圏形成協定を締結している県南はもとより、近接する栃木県北部の自治体と連携し、産業や医療、社会インフラの整備など、生活に必要な機能やサービスを相互に補充・充実させていくことが重要になると考える。

**Q** 介護報酬改定により、訪問介護の報酬が減額となり、訪問介護事業所の経営状況が厳しいとの報道が多く見受けられるが、市はどのように捉えているか伺う。

**A** 今後、市内の訪問介護事業所へアンケートを実施し、その結果を検証し、実態を正確に把握し、支援策を検討する。



**Q** 本市のたばこ税の活用について伺う。

**A** 望まない受動喫煙の防止と地方たばこ税の継続的かつ安定的な確保の両面から、施策の必要性について関係各課と協議していく。

# 男性の産後うつに対する支援は？



室井 伸一 議員

子育て相談や医療機関の受診を案内している



**Q** 男性も育児参加するようになったとともに、産後うつを発症するようになった。このことに対する支援はどのようになっているのか伺う。

**A** 産後の「こんにちは赤ちゃん訪問」や「乳児健診」で、父親を含めた家族の健康状態の確認を行っている。その際、うつ病の可能性がある場合には、早期にカウンセリングや治療につなげる必要があることから、臨床心理士による子育て相談や医療機関の受診を案内している。

**Q** 発達障害を早期発見するために、5歳児健診を行うことについて伺う。

**A** 5歳児健診は実施していないが、就学前に発達障害を早期に見出し、医療や福祉などの支援につなぐため、保健師や臨床心理士が幼稚園、保育園に出向いて乳幼児健診でフォローが必要となった子どもの様子を確認する「事後訪問」と、4、5歳児を対象に発達状況を確認する「すこやか相談会」、「フォローアップ訪問」を実施している。



# 策定を進めている「地域計画」について伺う



戸倉 宏一 議員

環境整備への取り組みや、コミュニティを再構築して振興を図る



**Q** 将来の農業の担い手や農地利用の在り方を明確にする地域計画の策定が令和5年度から進められ、3月末に完成すると認識している。この計画を今後どのように活かし、地域農業を守っていくのか伺う。

**A** 基幹的農業従事者数は今後も減少する。労働力不足による生産力の低下や遊休農地のさらなる増加を引き起こし深刻な事態となる。市では各地に足を運び、農業委員会や土地改良区等関係機関と協力しながら策定作業を進めてきた。今後は、農業の持続的な発展のため計画に基づき老朽化した土地改良施設の更新や農地の大規模化等環境整備にも取り組んでいく。これまで集落単位で受け継がれてきた農地や自然環境等の地域資源を守るため、家族経営や集落営農に加え、民間事業者も含めた大規模経営等多様な担い手と、地域に住む人々が協力し合い営農していくことが大事であり、コミュニティを再構築しながら、地域の振興を図っていくことが地域農業のあるべき姿であると考えている。



# 中小企業及び小規模事業者への支援について伺う

関係機関と連携し、総合的な支援を行う



鈴木 裕哉 議員



**Q** 多様な経営課題を抱える中小企業・小規模事業者へ、より多面的な支援が必要と考えるが、市長の考えを伺う。

**A** これまでも関係機関と連携を図りながら、事業承継に関するセミナーや講演会等を行ってきたが、新年度では商工会議所や産業サポート白河、地元金融機関と連携しながら「市民に親しまれている飲食店」や「卓越した技術を有する工房」などの事業承継に対して優先的な支援を行う。また、中小企業の存続を図りながら、新規事業者の参入を奨励し、新しい風を呼び込むことを目的に若い世代に向けた「起業家精神」を育む事業を実施すると共に、県内外から起業家が集まる仕組みをつくっていく。さらに未来を担う人材である中学生を対象とした「新しい職場体験」を実施し、地元企業を深く知ってもらう機会を創出していく。



事業承継

**Q** ふるさと納税の状況について伺う。  
**A** 直近3ヶ年の寄附額・件数はともに増加している。今後も魅力ある返礼品の拡充に取り組んでいく。

# 点検商法などの詐欺防止に防犯カメラの設置が有効だと言われるが、市の助成は?



大竹 功一 議員



**Q** 長年の経済不況により、市民の多くが困窮状態に喘いでいる。特に高齢者の中には生活保護受給を望む声をよく聞く。現在の申請件数と受給総数はどのようになっているのか。

**A** 2月1日現在、申請件数は、52件、受給者数は4

制度創設に当たっては、公共性などの観点から慎重に議論を進めたい

**Q** 最近、特殊詐欺や点検商法詐欺など市民に直接かわる事件が多発し問題となっている。これらに対する防犯対策として、防犯カメラの設置が有効だと言われている。市民の安心安全の観点から購入費用の一部を助成すべきと考えるがどうか。

**A** 福島県警察本部では、安全・安心なまちづくりを進めるため、住民で構成された自治組織などを対象に公共性の高い施設への防犯カメラの設置について、費用の一部を助成している。しかし、本市での制度創設に当たっては、公共性などの観点から慎重に議論を進めたいと考えている。



# 持続可能な上下水道の在り方について伺う

近隣自治体との連携や民間委託を検討していく



藤田 文夫 議員



**Q** 管路の老朽化等上水道の抱える課題を踏まえ、持続可能な上下水道の在り方について伺う。

**A** 水道・下水道は、生活に欠かすことのできないライフラインであることから、引き続き、近隣自治体等との連携を深める一方、民間事業者への業務委託等も検討しながら、将来にわたり安定した経営基盤を固め、市民の生活環境の維持・向上に努める。

**Q** 仮称「表郷こども園」を認定こども園として整備を進めてきた進捗状況と、今後の予定について給食提供も含めて伺う。

**A** 新年度で、園舎建設工事に着手する。完成は令和8年5月を予定しており、保育園の引越越し作業等を経て、同年9月1日の開園を目指す。また、自園調理により全ての園児に給食を提供する。



「表郷保育園」完成イメージ図

**Q** 市道関辺番沢線の進捗状況及び今後の予定について伺う。

**A** 今年度末には市道関根大河内線まで完了予定であり、残る約480メートルについては、地権者の方々に丁寧な説明を行いながら、早期完成に向け整備を進める。

# 「白河藩主」松平定信は徳川8代将軍吉宗の孫

「知られざる定信公の顔」をもっと市民へPR



柴原 隆夫 議員



信はこの藩主であったか」と、たびたび出題されている。また、市民が誇れる日本最古の南湖公園を造園した松平定信を市民にもっと知っていただくことは大切と考えるが、どのようにPRしていくのか伺う。

**A** NHK大河ドラマの放映は、市民に松平定信公を知って頂く機会と捉え「知られざる定信公の顔」を広く市民にPRしていく。

**Q** 昨年10月から、きつねうち温泉の料金値上げ行われ800円となった。近隣のバランスから客離れが懸念されるが、今後の経営戦略について伺う。

**A** コスト削減の努力を行い、リンゴ湯やしよぶ湯など「季節湯」の催しなど来館者の増加に向けた工夫をこらし、経営の体質改善に努力する。



日本最古の南湖公園 (松平定信が造園)

**Q** 白河藩主の松平定信がNHK大河ドラマ「べらぼう」に登場する。徳川8代将軍吉宗の孫で、11代将軍家斉の老中・松平定信が白河藩主であったことは、私たちが誇りとする歴史である。大学入試問題でも「吉宗の孫である老中・松平定信の孫であったか」と、たびたび出題されている。また、市民が誇れる日本最古の南湖公園を造園した松平定信を市民にもっと知っていただくことは大切と考えるが、どのようにPRしていくのか伺う。

# 予算編成で給食費無償化はどのように議論されたのか

一律無償化の是非、継続的な予算確保について検討



深谷 弘 議員



**Q** 新年度予算編成のなかで学校給食費無償化はどのように議論されたのか。そもそも、教育委員会部局からの予算要求はあったのか。

**A** 予算編成にあたっては、本市の教育にとって何が必要かを様々な視点から真摯に議論した。給食費無償化を否定しないが、所得の少ない世帯や多子世帯の第3子以降の給食費を実質無償とすることで、必要な方への支援を実施している。限られた財源の使い方として、高所得者を含めた一律無償化の是非や、継続した予算確保の問題があることから自治体間の格差をなくすためには国が無償化を実施すべきであると考えている。現在の国の動きとして、「まずは小学校を念頭に2026年度内に実現する」との報道があるので、その動向を注視していく。



## 人事案件

農業委員会委員の任命及び人権擁護委員候補者の推薦について、いずれも原案のとおり同意しました。

議案名と委員の任期	委員の氏名(敬称略)
<b>議案第40号～第58号</b> 白河市農業委員会委員の任命について 任期：3年 新任期：令和7年4月1日～令和10年3月31日	茂木 一男(明戸・再任)      高橋 亨(老久保・新) 鈴木 信秋(北裏・再任)      鈴木 登(久田野・新任) 鈴木 俊信(大北ノ内・新任)      砂川 重則(白坂・新任) 小泉 光敏(小田川・再任)      大谷 成孝(借宿・新任) 緑川 和夫(関辺・新任)      星野 雅子(北堀切・新任) 緑川 守(表郷八幡・新任)      鈴木 博文(表郷金山・新任) 穂積 幸雄(表郷番沢・新任)      高久 亨(大信隈戸・再任) 塩田 一也(大信中新城・再任)      大戸 文治(大信増見・再任) 山内 喜一(東釜子・再任)      飛知和秀郎(東蕪内・新任) 梨本 清太(東上野出島・再任)
<b>議案第59号～第65号</b> 人権擁護委員の候補者の推薦について 任期：3年 新任期：令和7年7月1日～令和10年6月30日	宮本多可夫(旭町・再任)      小磯 厚子(中田・再任) 佐藤 正弘(三番町・再任)      松川 典夫(旭町・再任) 櫻井 厚志(大搦目山・再任)      星野 雅子(北堀切・新任) 小松 葉子(東釜子・新任)